

ショウロウクサギ

Clerodendron trichotomum Thunb.
var. *esculentum* Makino

クマツヅラ科
Verbenaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では「豊後水道域」の半島先端部や島などに分布するが、個体数は少ない。陽樹で林縁に生えることが多く、伐採による生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 豊後水道域

分布域 四国 九州(長崎・熊本・大分・鹿児島) 沖縄

生育環境 海岸低木林や林縁。

現状 岬や島にみられるが個体数は少なく、道路辺で伐採されたものをみかける。

備考 クサギの海岸型で、クサギとの区別が難しいものもある。

カイジンドウ

Ajuga ciliata Bunge
var. *villosior* A. Gray ex Nakai

シソ科
Labiatae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

選定理由 県内の生育地は火山性草原に点在し、個体数も少ない。草原の開発や人による採取で消滅する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地

分布域 北海道 本州 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 丘陵地や低山地の草地。

現状 「由布・鶴見火山群」の生育地は、道路工事により生育範囲が減少した。

ツクバキンモウソウ

Ajuga yesoensis Maxim.
var. *tsukubana* Nakai

シソ科
Labiatae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 全国的に分布域は狭い。本県での生育地は極めて希で、個体数もごく少ない。森林伐採による環境の変化や登山者の踏圧などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，津江山地

分布域 本州 四国 九州(大分)

生育環境 丘陵地から低山地の林縁や林内。

現状 いずれの生育地も、ごく少数が生育しており、わずかな環境変化でも消滅しそうな状態である。

備考 本県は、分布の南限域にあたる。